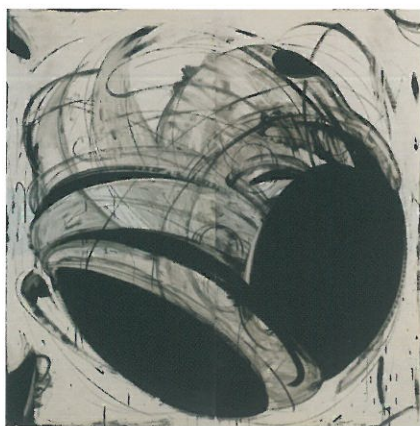


# 吉澤美香展

1990-2006



《に-44》1991年 当館蔵



《ほ-86》1992年 当館蔵



《り-31》1995年



《を-52》2004年



《わ-54》2006年

豊川市桜ヶ丘ミュージアムでは、1980年代に「超少女」として紹介され、早くから国際展などで活躍する吉澤美香（1959年東京生、現多摩美術大学教授）の個展を開催いたします。

吉澤は、椅子やタンス等の家具に絵を描いたものやレリーフ状の作品で若くして注目され、20代で国際芸術展に日本代表として選出されるなど目覚ましい活躍を見せます。作品はその後、大きな薄いアクリル板などに工業用インクで大胆に明快なかたちを描くようになり、ダイナミックな筆致を残す独自の作風を築き上げました。

本展では、高校教科書（光村図書/平成16年発行）に掲載された《る-79》（2001年）をはじめ、1990年から2006年に制作された20点以上に及ぶ作品群で吉澤美香の世界を紹介いたします。

当館にとっては新しい美術動向である現代美術を紹介する企画展4回目となり、学校アウトリーチや、ワークショップなども行うことで現代美術の魅力を発信していきます。

## 吉澤美香 略歴

- 1959 ● 東京に生まれる
  - 1984 ● 多摩美術大学大学院美術研究科終了
  - 1982 ● 「第18回今日の作家展—November Steps」横浜市民ギャラリー（横浜）
  - 1983 ● 「第3回ハラ・アニュアル」原美術館（東京）
  - 1985 ● 「第18回サンパウロ・ビエンナーレ」（ブラジル・サンパウロ）
  - 1987 ● 「Documenta 8」（ドイツ・カッセル）
  - 1990 ● 「1st北九州ビエンナーレ」北九州市立美術館
  - 1992 ● 個展（ギャラリー・アート・デューン、浜松）1995、1998、2001、2004年
  - 1995 ● 「Art in Japan Today—日本の現代美術1985-1995」東京都現代美術館（東京）
  - 2000 ● 個展「吉澤美香—余白への眼差し—」セゾンアートプログラム・ギャラリー（東京）
  - 2005 ● 個展「作家の現在—絵画とドローイングの間に」いわき市立美術館（いわき）
  - 2011-2014 ● Daylily Art Circus 東日本大震災のために、アートによる心のつながり運び
  - 2015 ● 個展「名誉・利益・恐怖」ギャラリー・アートアンリミテッド（東京）
  - 2018 ● 起点としての80年代 金沢21世紀美術館（以後、静岡市美術館、高松市美術館を巡回）
- ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代 国立国際美術館（大阪）



## イベント 参加無料

### アーティストトーク

吉澤美香さんによる作品紹介です。  
12月15日（土）10:30～

### ギャラリートーク

当館学芸員による展覧会の解説案内です。  
日時●12月22日（土）14:00～14:30  
場所●展覧会場

### キッズ・ワークショップ

「目に見えないものを想像して描こう」講師●吉澤美香さん  
日時●12月23日（日）13:00～15:00 会場●第2実習室  
定員●15名（11月10日（土）9:00から電話か窓口で事前申込、先着順）対象●小中高生

## 交通案内

電車◎JR飯田線「豊川」駅、名鉄豊川線「豊川稲荷」駅下車徒歩約15分  
バス◎JR豊川駅前のりばからコミュニティバス千両三上線「上千両集会所」ゆきで「桜ヶ丘ミュージアム」下車徒歩1分  
車◎東名高速「豊川IC」から豊川稲荷方面へ約10分（駐車場約100台：無料／公園と共用）  
※土日は混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用や乗合せにご協力ください

